

佐賀大学は『佐賀の大学』として学生中心の大学を目指す。写真はメインストリート



佐大スケッチ

昨年十一月、「これまで学外性を感じさせられる時間だった。見た人の目線で、大学で新鮮な疑問に思ったことなどを書きましよう」ということで始まった「佐大スケッチ」も最終回。毎回、限られた字数にまとめることに苦労したが、おかげで学内のいろいろな所に浮かせることができた。先生方の研究や仕事の話は、興味深くついつい長居した。大学はやはり知の拠点だということ、世界的な視野を持つことの必要

性を感じさせられる時間だった。学生たちにもたくさん会った。非常にまじめな大学祭の実行委員たち。昔を思い出してこれでもいいのか」などと心配になった。中国からの留学生劉さん

と思いがけない再会もあった。ノートテイカーの支援を受けている三年生の高島さん。「将来、自分のように障がいを持って入学する学生のために」という思いは、このサービスを大学の公

地域の大学 存在価値高めたい

式的なものにした。

「佐大に来てよかったと学生たちに思ってもらえるように」と熱い思いを語る職員たちもいた。そして、本部棟にある絵「あちゃんの花粧」を取り上げた時は、実際にこの絵を見に来られた方がいたと聞き、読者の反応を実感した。多くの方々のおかげでこれまで書き続けることができた。

これからの佐賀大学は『佐賀の大学』として学生中心の大学を目指していく。組織の隅々まで熱い血が流れ「佐賀にある国立大学」として存在価値がますます高まるよう役目を果たしたいと思っている。正門のラクウショウの並木は緑と茶色の美しいグラデーション。五月にはナンジャモンジャの大木に白い花も咲く。まだまだ紹介したいことはたくさんある。この続きは大学のホームページに書くことにした。ご覧いただければ幸いです。

佐賀大学公式HP「理事室から」の北島理事のページ
<http://www.saga-u.ac.jp/saga-u/sadaisukechi.pdf>

(佐賀大学理事・北島悦子)

—おわり—